

全席シートベルトの着用を！

下表は、令和2年から令和6年までの5年間で、北海道内において発生した交通事故死者（614人）のうち、四輪乗車中死者のシートベルト非着用状況、非着用死者の生存可能性状況についてです。

	運転者	助手席	後部席ほか	合計
シートベルト対象者	230人	28人	37人	295人
シートベルト非着用	92人 (40.0%)	7人 (25.0%)	24人 (64.9%)	123人 (41.7%)
生存可能者	52人 (56.5%)	4人 (57.1%)	19人 (79.2%)	75人 (61.0%)

() 内 は、非着用者に対する生存可能者の割合

※生存可能者とは、当時車両の破損状況等から生存空間が認められ、シートベルトを着用していたならば、生存していたと推測される死者をいいます。

シートベルトは万が一交通事故が起きた場合の『命綱』になります。

シートベルトを着用していなければ、事故の衝撃で体を車内に激しく打ち付けたり、車外に放り出される危険もあり、致命傷を負う原因にもなります。

必ず全席シートベルトを着用しましょう！